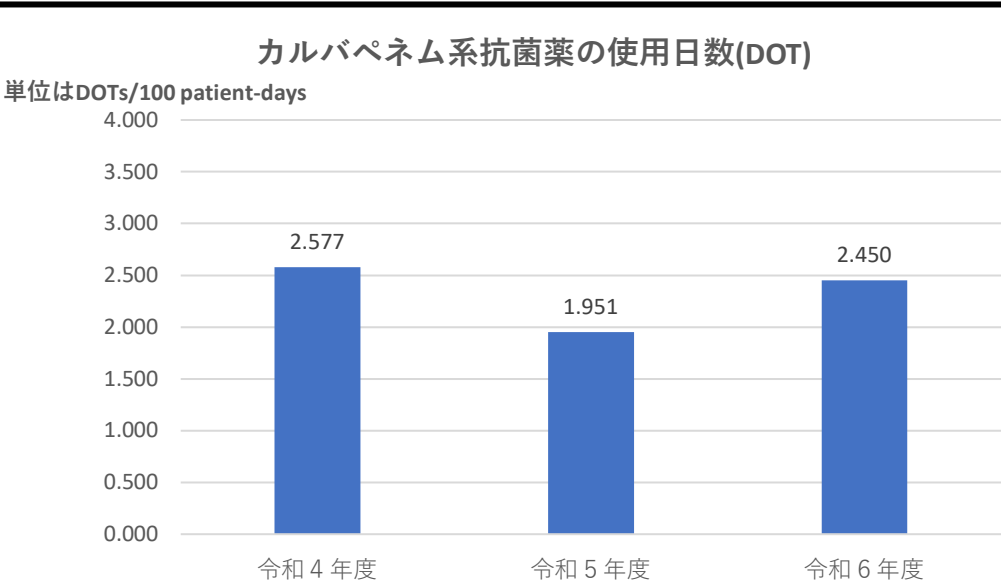


13. カルバペネム系抗菌薬の使用日数(DOT)		令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		2.577	1.951	2.450								
解説	抗菌薬は感染症治療の切り札ですが、近年、世界中でこれら抗菌薬に対して抵抗性を持った微生物が増えています。この原因の一つに、適切ではない抗菌薬の使い方があります。当院では、様々な微生物に対して効果があり、不適切な使い方になりやすい「カルバペネム系抗菌薬」の使用を感染制御部にて確認し、抗菌薬が適切に使われるよう支援しています。この項目は、どれだけ「カルバペネム系抗菌薬」が使用されているかの指標となります。											
当院の実績	カルバペネム系抗菌薬の使用日数(DOT) 単位はDOTs/100 patient-days <table><thead><tr><th>年度</th><th>DOTs/100 patient-days</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度</td><td>2.577</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1.951</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2.450</td></tr></tbody></table>				年度	DOTs/100 patient-days	令和4年度	2.577	令和5年度	1.951	令和6年度	2.450
年度	DOTs/100 patient-days											
令和4年度	2.577											
令和5年度	1.951											
令和6年度	2.450											
項目の定義	カルバペネム系抗菌薬のDOTは、特定の期間中（本表では1年間）に投与されたカルバペネム系抗菌薬の総日数を入院患者延べ日数で割り、その数に100を掛けて計算しています。DOTは、投与日数や投与患者数の増減をよく反映するため、抗菌薬の使用状況を検討する統計資料の一つとして活用されています。											